

 **今日のゴール** 命令文(Stand up. / Don't ~. / Let's ~.)で、グループオリジナルの「30秒体操」の指示書を作って実演しよう。

**STEP 1** お手本を読んで、声に出してまねしよう。

▼ 体操の指示(インストラクター風に)

**Stand up!****Raise** your right hand. **Raise** your left hand.**Jump** three times. **Don't stop!****Touch** your toes... and **smile! Let's do it again!**

命令文は主語なしで動詞から。禁止は Don't ~、みんなでやろうは Let's ~。体の部位(hand / head / toes)を組み合わせる。

**STEP 2** 使える表現(この中から選んで使おう)

Stand up. / Sit down.

Raise your ~.

Touch your ~.

Jump / Turn / Clap

~ times

Don't ~.

Let's ~.

**STEP 3** グループで体操の動きを4つ決めて、順番にメモしよう。

|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| ① |  | ② |  |
| ③ |  | ④ |  |

**STEP 4** 30秒体操の指示書を書こう(命令文6文以上・Don't と Let's を1回ずつ)。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |

✓ お手本と表現バンクを見ながらでOK。まちがいを恐れず、まず書いてみよう。

クラス・オリジナル体操をつくろう【つたえる・ふりかえる】

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

STEP 5 グループで練習→クラスで実演。ほかのグループの体操を全員でやってみよう。

できたらチェック：

- ☐ ① グループ内でインストラクター役を交代しながら通し練習
- ☐ ② クラスの前で実演(インストラクターの指示で全員が動く)
- ☐ ③ 「いちばん効きそうな体操」をクラス投票で決定

自己評価 できたところに ○ をつけよう(正直に！)

| ふりかえりの観点             | ◎ よくできた | ○ できた | △ もう少し |
|----------------------|---------|-------|--------|
| ① 内容 言いたいことが相手に伝わった  |         |       |        |
| ② 正確さ 習った表現を正しく使えた   |         |       |        |
| ③ 流暢さ あまり止まらずに言えた    |         |       |        |
| ④ 態度 相手を見て、聞こえる声で言えた |         |       |        |

ふりかえり 次はどうしたい？ できるようになったこと・次の目標を1つ書こう。

☆発展チャレンジ！ 英語の指示だけで初めての人を動かせたら、その指示書は本物。Slowly...(ゆっくり)/ One more time! (もう1回) のような「味つけの一言」を足すと、インストラクターの英語になる！

先生へ(この教材のねらいと進め方)

ねらい: 命令文を「指示で人を動かす」という本来の機能で運用させる。TPR(全身反応)の発想を生徒側に渡し、指示を出す側の経験をさせるのが応用のポイント。

進め方: 教師がモデル体操を全力で実演 → グループで動き決め → 指示書 → 実演。動きは安全なものに限定(ジャンプ・ストレッチ系)と事前に枠を示す。

見取り: 動詞の原形で始まっているか／Don't・Let's の使いどころ／指示が聞き手に通じたか(通じる＝正確さの証拠)。評価は裏面の4観点で。